

# *ED.JP ドメイン名の行方*

—パンドラの函を開けたのか？—



JPNIC DOM-WG

川崎 基夫

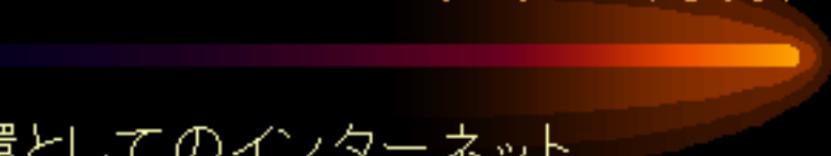
kawasaki@nic.ad.jp

# 誰のためのドメイン名か



- 主に「児童・生徒などの教育を受ける人」  
のためのドメイン名
- 子供たちが幸せにインターネットに参加するため

# このコミュニティの特徴



- 学習の一環としてのインターネット
  - ネットワークリテラシを育むために
  - ローマ字識別能力？
- 6・3・3で入れ替わる
- クラック小僧？
- コミュニティ内部でもばらつき

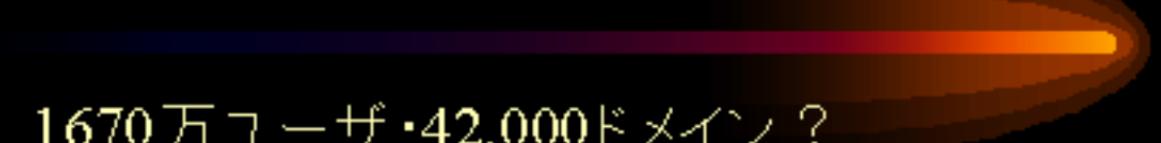
# ステークホルダー

- 子供たち
- 教職員
- 保護者
- 教育行政
- 教育学者・心理学者
- インターネット・コミュニティ
- ISP・通信事業者
- 機器ベンダ
- JPNIC
- 全員の満足？
- 全員が不満？

# 「良い」ドメイン名への努力

- ユーザが希望するドメイン名
- 短い
- 小学生でも使いやすい・わかりやすい・覚えやすい
- 管理運営する側の便利
- インターネット的発想との整合

# 本当に必要か？



- 1670万ユーザ・42,000ドメイン？
  - そのコミュニティは望んでいるのか？
  - インターネット接続とドメイン名登録は別？
  - ドメイン名衝突回避・費用優遇との関係
- 
- アンケートの結果では「欲しい！」

# 登録対象

- 学校
  - 幼保？
  - 小中高特殊教育
  - 外国人学校
- 周辺領域
  - 各種学校？
  - 専修学校？
  - 学習塾？
  - 趣旨に照らして
- 学校群
  - 私立学校
  - 大学付属校
  - 教育センタ
- 「明確に定義できる」か？
- 明らかなものから周辺領域へ

# ドメイン名の構造

- <学校名>.ED.JP
- <学校名>.<都道府県名>.ED.JP
- <学校名>.<市町村名>.<都道府県名>.JP
- <学校名>.ED.<都道府県名>.JP
- <学校名>.AC.JP
- <学校群>.NE/GR.JP \*
- 混在型・選択の余地(属性型・地域型)
- ドメイン名の例・利点欠点は第3回アンケート案を参照

# ドメイン名の衝突回避・調整

- 先願主義
  - これまで通り
  - 単純明解
  - 先行者は先願主義で登録した
- 衝突回避・調整
  - 登録対象が特定多数
  - 競争原理がなじむか？
  - 予算措置上の順番がドメイン名選択の順番？

# 費用優遇措置

- 次世代を担う若者たち
- 方法論
  - 外部委任し、委任先が優遇措置を取る
  - 外部委任し、作業軽減分を優遇措置へ回す
  - JPNICが資金援助を受けて優遇措置を取る
- JPNIC手数料は実際のコスト負担
  - 一部を優遇する=その他を差別する
  - 社団法人としての税務対策

## 外部委任

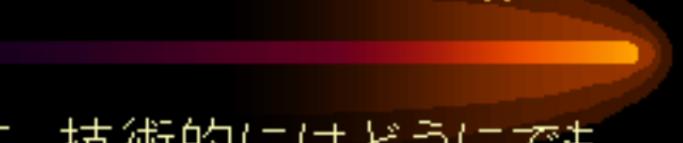
- 5年で40,000校 = 1ヶ月670校 = 申請数  
+25%
- ドメイン名衝突回避の調整役？
- 費用優遇措置の受け皿？
- 外部委任の条件は？
- 候補者はいるのか？
- JPNIC自身が扱うこともできる

# 急ぎすぎ vs. 時間が無い



- 急ぎすぎ
  - 2LD新設には慎重に
  - コンセンサス形成が重要
  - Domain Talk はロンダリングのため？
- 時間が無い
  - 今年度も予算は付いている
  - 「ED.JPが決着するまで待て」
  - 来年度予算を取るには9月までに決着を

# 管理の範囲とドメイン名構造



- 独立事象であって、技術的にはどうにでもなる
- 一致させるほうが直感的にはわかりやすい
- 誰が管理を行うのか -- 権力闘争？
- 間口を広く、さまざまなケースに対応

# 有害情報フィルタリング

- ドメイン名・IPアドレスで大雑把なマスクは可能
- 専用のフィルタシステムも登場しつつある？
- 過剰な期待はしない方が賢明
- (セキュリティは大問題)

# 結論への道筋

- オフミの後
  - アンケート？
  - オフミからの提案？
  - もちろん、やめちゃうって選択も....
- アンケートの拘束力
  - アンケートの結果はコンセンサスか
  - 組織票ってありなの

## 参考資料

- ・「ED.JPドメイン名に関するFAQ(案)」
- ・「『ED.JPドメイン名新設の提案』に関するアンケートのお願い(案)」
- ・第1回・第2回のアンケート結果